

都小音研

令和6年3月7日第66巻446号

発行所
東京都小学校音楽教育研究会

事務所
東京都三鷹市北野3-1-5
東三鷹学園三鷹市立北野小学校

出会いは必然 人と人との縁を大切に

東京都小学校音楽教育研究会
副理事長 島田 朋子
(板橋区立志村第五小学校長)

令和6年1月26日に、西東京市の日本文華学園 文華女子高等学校に於いて、「令和5年度 東京都小学校音楽教育研究会 第66回 研究大会 西武ゾーン大会」を開催することができました。一つの会場に参集した開催は、実に4年ぶりです。開催に向けてご尽力いただきました練馬区・小平市・清瀬市・東久留米市・西東京市の先生方をはじめ、関係の皆様にご心より感謝申し上げます。また、快く会場をお貸しくださった日本文華学園 文華女子高等学校の皆様へ、深く御礼申し上げます。

西武ゾーン大会は、コロナ禍の出口が見えない2年ほど前から準備を進めました。感染症の影響により開催できないことも視野に入れ、事前の録画により、多くの提案と一つの会場参集を実現することができました。これは、コロナ禍で誌面発表となった多摩南ゾーンや山の手Cゾーン、そして、前年度の4会場オンラインで実施した山の手Dゾーンの思いを受け継ぎ、今できる最善の方法を模索し実現したものです。関係の先生方のご努力には頭が下がる思いです。多くの先生方が会場に集まり、久しぶりに会場で旧交を温める姿は大変嬉しい光景でした。私も、このゾーン大会で、初任の地区や研究会等でご一緒した先生など、懐かしい先生方と久しぶりに再会することができました。変わらずに学びに向かう姿や仲間と共に運営に取り組む様子を目の当たりにして、音楽の特別な絆を感じるとともに、自分自身も学び続けなければと、思いを新たにしました。

さて、私が「音楽の先生になりたい」と思った原点は、小学校の音楽の先生との出会いにあります。当時、小学校高学年になって専科の先生による授業が始まりました。いつも子供たちの心に響く言葉で熱心に指導してくださった音楽の先生。担任の先生も一緒になってクラスや学年で合唱した経験、心を開いてクラスが一つにまとまった経験やそのときに味わった喜びが、その後の私の生き方を見付ける原点となりました。その後も先生の携わってこられた地域の合唱団の指導にご一緒させていただきました。

大学でご指導いただいた小林光雄先生からは、「音楽に国境はない」「歌の語源は“訴える”」「きれいな大和言葉できちんと伝えるつもりで歌いなさい」と説かれ、音楽と平和への願い、合唱の素晴らしさと奥深さを教えていただきました。学生時代から晩年まで合唱指導や指揮法を学ばせていただきました。

人と人との出会いは財産です。数えきれないほどの偶然が重なって、今の自分がここにあるのだと思います。恩師、友人、職場、教え子、保護者、地域の方々…数えきれないほどの方から影響を受け、(おそらく私も影響を与え)今があるのだと思っています。偶然は未来の必然です。これからも音楽、そして教育の力で結ばれた人と人との縁を大切に、未来ある子供たちのために力を尽くしてまいりたいと思います。

春のあたたかい風と木々や花の香り、そして空気感に、私はいつも気持ちがふわふわします。令和5年度から令和6年度へ、そんな旅立ちと出会いの季節がやってまいりました。子供たちの門出をお祝いするとともに、皆様お一人お一人に、希望に満ちた新しい出会いがありますように…。



第66回 都小音研 研究大会「西武ゾーン大会」

■ 大会研究主題「つかもう 広げよう 生かそう 私たちの音楽！」

令和6年
1月26日

研究演奏

歌唱・音楽づくり
器楽合奏

「せんりつの重なりを感じ取ろう」

小平市立小平第六小学校(第4学年) 指導者：菅野 理沙
曲想と旋律の特徴や重なりとの関わりを捉え、子供たちが課題意識をもち、声や楽器のひびき合いを感じ取りながら演奏していました。器楽合奏『故郷の人々』では、『ユーモレスク』と組み合わせながら、各テーマに沿った構成を工夫し、イメージ豊かな演奏にまとめていました。

合唱

「未来に届け ハーモニー ともに歌おう 私たちのふるさと」

練馬区立開進第三小学校(第6学年) 指導者：永井 佳代子
曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりから、子供たちが表現を工夫して歌っていました。歌う子供たちの表情には、合唱への強い思いと自信が溢れていました。子供たちにとって、仲間と考え、声を合わせたこの時間は忘れられない経験になったことと思います。

研究授業

音楽づくり

「言葉あそびうたをつくろう」

練馬区立練馬第二小学校(第3学年) 授業者：裨津 瑞紀
「あっちゃん あがつく あいうえお」の詩を基に、言葉のもつリズムや音の動きを生かして言葉遊び歌をつくっていました。子供たちの協働する姿、そして何よりもその豊かな創造力が印象的でした。助言者の石上則子先生からは、わらべうたの教材としてのよさやウェルビーイングに繋がる音楽科の学びについてご指導いただきました。

鑑賞

「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」

小平市立学園東小学校(第5学年) 授業者：加藤 大輔
『祝典序曲』の「ファンファーレ」に注目し、「どんな時、どんな場所で演奏されるのか」というイメージをもつ導入から展開していきました。子供たちと対話しながら、曲想と音楽の構造を結び付け、曲のよさを捉えていきました。助言者の高倉弘光先生からは、「子供がビビッとくるであろう要素」と「教師が学ばせたい要素」が重なった「よろこびポイント」を設定し、生活や社会の音や音楽と豊かに関わることを念頭に置いて学習計画を立てることなどをご指導いただきました。

器楽

「思いを表現に生かそう」

東久留米市立第五小学校(第5学年) 授業者：幸島 民恵
『威風堂々』を教材として、各パートの特徴や役割を生かして表現を工夫するという活動内容でした。webアプリ「カトカトーン」の活用によって、子供たちは自分のパートのよさや必要性を実感していました。エキスパート活動やジグソー活動を通して、一人一人がどのように演奏するか考え、活発に伝え合う姿が見られました。講師の小梨貴弘先生からは、器楽合奏において個と全体を結ぶ方法や、ICT機器の効果的な活用方法を中心にご指導いただきました。

歌唱

「曲の特徴にふさわしい表現を工夫しよう」

練馬区立開進第一小学校(第6学年) 授業者：外義 麗望
『明日を信じて』を教材とし、曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞との関わりを考え、子供たちが主体的・協働的に表現を工夫していました。学習を重ねる毎に増す、子供たちの自信に満ちた、力強い歌声が印象的でした。助言者の岩井智宏先生からは「学校教育の中での歌唱」について演習も交えながら、楽しく分かりやすくご指導いただきました。



音楽づくり

「いろいろな和音のひびきを感じ取ろう」

西東京市立本町小学校(第6学年) 授業者：吉野 修平
和音や和音以外の音を使って、和音と旋律との関係を意識した旋律づくりを行う活動内容でした。常時活動で和音への感覚を身に付けたり、旋律をつくる活動への気持ちを高めたりしてから本活動に入り、和音進行を感じた上で友達と相談しながらつくることで、旋律の動きについて思いや意図をもって取り組むことができていました。講師の平野次郎先生からは、授業づくりにおける「個と協働」について、常時活動や振り返りの活用について等をご指導いただきました。

鑑賞

「“いいね” を見つけてきこう」

清瀬市立清瀬小学校(第4学年) 授業者：今井 優伽
グリーグ作曲の『ノルウェー舞曲 第2番』の曲想及びその変化と、速度、旋律、強弱との関わりを考え、味わって聴く学習でした。本時では、言語活動と音楽活動を往還することで、子供たちは自分なりの考え方や音楽の感じ方を広げ深めていくことができました。講師の熊倉佐和子先生には、鑑賞の学習の仕方やこれからの音楽科の在り方についてご指導いただきました。

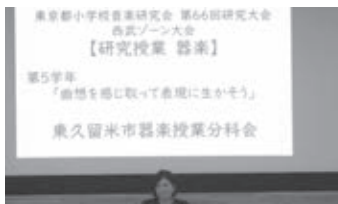


(文責・広報部)

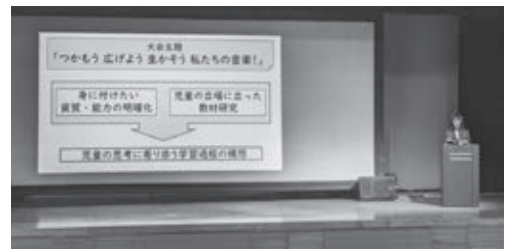


開会行事

西武ゾーン大会 当日の様子



研究協議



研究発表



演習を取り入れた講評



研究授業動画より



研究演奏の視聴

西武ゾーン大会報告

都小音研研究部長 立川市立第三小学校 指導教諭：半野田 恵

令和6年1月26日、西東京市の日本文華学園 文華女子高等学校において、西武ゾーン大会が開催されました。感染症が猛威を振るう2年前より準備を進め、これまでのゾーン大会を参考に開催方法や研究内容を協議し、事前録画による授業、演奏の発表と一会場に集まった研究発表等の形となりました。

大会主題『つかもう 広げよう 生かそう 私たちの音楽!』を設定し、「児童の思考に寄りそう学習過程の構想」を軸に主体的・対話的で深い学びの実現を目指して研究を進めてきました。着実な実践研究を積み重ねてきたことが、6本の研究授業、2本の研究演奏、研究発表などをご覧いただけたと思います。また、動画は、題材全体の流れやまとめの振り返りなども含めて作成されており、学習過程を見通すことができる新たな提案となりました。

西武ゾーン大会に携わった皆様に心より敬意を表します。本大会の成果を次の山の手Aゾーン大会へとつないでいきます。

第60回 合唱祭

令和6年2月18日(日)・23日(金/祝)

府中の森芸術劇場どりーむホール

記念すべき第60回合唱祭が2月18日・23日の二日間にわたって開催されました。

今年度は46校の子供たちが日頃の成果を発表しました。感染症対策が撤廃され、4年ぶりに客席での全員合唱が行われ、ホール一杯に歌声が響き渡り、感動の幕開けとなりました。

どの学校の子供たちものびのびと、自分の思いを歌で表現し、互いに聴き合い、合唱による素晴らしい交流をしました。昨年に引き続き、講師の藤澤幸義子先生からは、出演した各校に講評をいただき、事後研究会では、二日間ともワークショップをしていただきました。①歌う時の基本的な姿勢・呼吸の仕方 ②明るいきれいな地声と頭声への繋げ方 ③楽曲にふさわしい発語・発音の仕方 ④旋律の歌い方とフレーズのつくり方 ⑤ハーモニーを感じ取る練習など、明日の指導にすぐに使いたくなる、たくさんの具体的な言葉がけについて学ぶことができました。藤澤先生の専門的な発声指導と合唱指導者としての視点をもった子供たちにわかりやすい温かいアドバイスをいただきました。運営には145名の会員と大勢のOBの先生方が参加しました。

合唱研究会60周年記念事業として、過去の合唱祭の素晴らしい演奏を永久保存するため、オープンリール、カセットテープ、ベータビデオなどを、デジタル化しました。また「年輪第6号」を発行し、この60年の活動を振り返り、合唱研究会60周年にふさわしい素晴らしい研究会となりました。



合唱研究会副理事長兼研究部長 後藤 朋子 (日野・平山小)

第48回東京都小学校管楽器演奏会

令和6年2月18日(日)・24日(土)・25日(日)

武蔵野市民文化会館大ホール

上記の日程で3日間にわたって開催され、32校が参加しました。それぞれの学校事情から、課内活動、課外活動、学年と、バンドの在り方は違いますが、どの学校も1年間の活動の集大成という位置付けで参加しています。当日は、どの学校の子供たちも目を輝かせながら自信に満ちた姿で演奏し、これまでの練習で積み重ねてきた力を思う存分に発揮することができました。1年間の活動を締めくくる演奏会として、大きな舞台上で生演奏できることの素晴らしさを誰もが実感しました。

今年度は、演奏会の運営の在り方についても、学校と保護者とが互いに協力し合ってできるような方向性を探っていきました。子供たちの笑顔のために、持続可能な演奏会を求めて、さらに改善していきます。

3月の例会では、全演奏を講評していただいたスクールバンドサポーターの田川伸一郎先生を講師にお招きして演奏会を振り返り、様々な観点からご指導いただきます。今後の活動や次の演奏へどう生かすのか、私たちにとって大切な学びの機会としていきます。



管楽器研究会副理事長 大谷 美奈子 (豊島・高南小)

第60回記念 児童作曲コンクール 審査結果

令和5年度、作曲コンクールは第60回の節目を迎えました。2月9日(金)にはカスケードホールにて、授賞式・入選作品演奏発表会が行われました。

課題詩の部1 「はるの あかちゃん」

大竹 典子 詩

- 入選 久能 彩歌 (目黒・大岡山小6年)
 藤田 珂偉 (中野・桃園第二小3年)
 岩田 咲知 (杉並・高井戸小4年)
 石原 怜 (多摩・多摩第一小4年)
- 佳作 齋 実梨衣 (港・青南小5年)
 菰原あさひ (江東・豊洲西小6年)
 児玉 結風 (葛飾・綾南小4年)

課題詩の部2 「きこえてくるよ」

白石 はるみ 詩

- 入選 熊野瑛悟・山田篤郎・佐竹聡一郎・鈴木悠馬・寺西丈
 (港・青南小4年)
- 久能 彩歌 (目黒・大岡山小6年)
 境 ほのか (練馬・関町北小5年)
- 佳作 辻 明音 (江東・平久小5年)
 阿江 美波 (足立・千寿第八小4年)
 日下部めい (立川・幸小4年)

自由作品の部ア (旋律のみの作品)

- 入選 原田 さら (港・青南小4年)
 洞口 愛理 (世田谷・給田小4年)
 児玉 結風 (葛飾・綾南小4年)
 深奥 唯加 (小金井・小金井第一小4年)
- 佳作 興 美結・中村眞啓・花田沙夏・又吉ひな乃
 (江東・越中島小3年)
- 藤島日葵・小松原 彩
 (江東・平久小6年)
- 牧野 知歩 (世田谷・尾山台小6年)

自由作品の部イ (伴奏等がついたもの)

- 入選 早川 瑠威 (新宿・富久小5年)
 乙幡ゆい菜 (台東・金曾木小6年)
 久能 彩歌 (目黒・大岡山小6年)
 沼田 理玖 (江戸川・船堀小5年)
 石原 怜 (多摩・多摩第一小4年)
- 佳作 齋藤 響 (中央・日本橋小2年)
 中園 旦 (港・青南小4年)
 市川 奏 (文京・林町小6年)
 山下 真由 (練馬・下石神井小5年)

第60回記念 会長賞・審査員特別賞

- 久能 彩歌 (目黒・大岡山小6年)

学校賞 (3年連続して作品応募のあった学校)

- 港・青南小
- 新宿・牛込仲之小
- 新宿・富久小
- 文京・柳町小
- 文京・林町小
- 文京・汐見小
- 江東・平久小
- 江東・豊洲北小
- 江東・豊洲西小
- 杉並・高井戸小
- 豊島・駒込小
- 練馬・光が丘夏の雲小
- 葛飾・綾南小
- 立川・第三小
- 立川・幸小
- 小金井・小金井第一小
- 多摩・多摩第一小

♪今年度の受賞作品は、入選作品集としてまとめています。(1冊600円)ぜひ、今後の作品づくりにお役立てください。購入希望の方は下記までご連絡ください。

◇問合せ先：事業部長 脇田秀男(新宿・牛込仲之小)

東京都小学校音楽教育研究会 第67回 研究大会 令和6年度 「山の手Aゾーン大会」

大会主題

「自ら求め 共に高まり 学びをつなげる児童の育成」

～音楽的な見方・考え方を働かせた音楽活動を通して～

日時：令和7年1月24日(金)

場所：〔午前〕各区学校

〔午後〕豊島区民センター 多目的ホール

内容：研究授業4本 研究協議 研究発表 講評・講演
 山の手Aゾーン大会では西武ゾーン大会の成果と課題を踏まえ、音楽科の目標を達成する授業の実現を追求し、学びの場を創造した授業づくりに向け、4地区(文京区・豊島区・北区・板橋区)で研究を進めております。

つきましては、東京都をはじめ、全国の皆様と今の音楽科教育をともに考える機会にしたいと思います。

編集後記

もうすぐ卒業式。あたりまえのようにやってくるこの季節を、毎年新たな気持ちで迎えたいとピアノ伴奏の練習をしながら感じます。今年度もあとわずか、心身の健康に気を付けましょう。皆様ご自愛ください。(KK)

♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈12月理事会〉 12月14日(木) 於：北野小

議長：五井野 護 (文京・大塚小)

○会長あいさつ

○議事

- 1・2月の行事予定について
- 令和6年度 山の手Aゾーン大会について
- 各部より *庶務 *会計 *研究 *事業
 *調査 *広報 *ICT
- ゾーン毎の音楽行事に関する情報交流及び、全体共有

会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 峯岸 敦子

編集：広報部

印刷：タイヨ一美術印刷株式会社